

LID FOR WIDE MOUTH CONTAINER

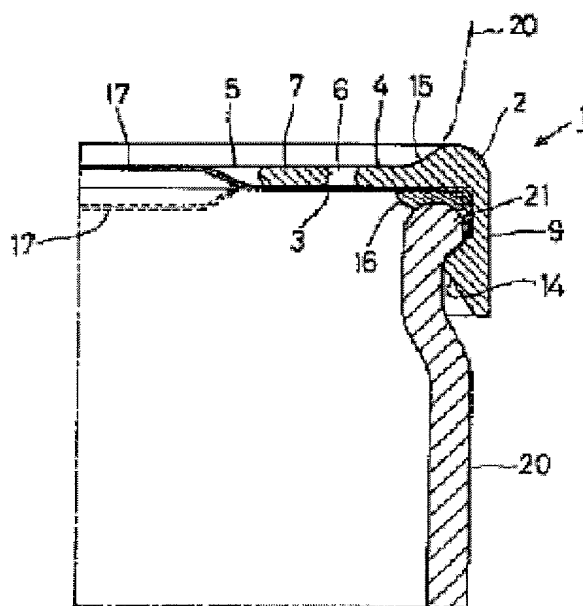
Patent number: JP8156961
Publication date: 1996-06-18
Inventor: UEDA RYOZO
Applicant: TOYO GLASS CO LTD
Classification:
- international: B65D51/18; B65D55/02
- european:
Application number: JP19940329211 19941205
Priority number(s): JP19940329211 19941205

Report a data error here

Abstract of JP8156961

PURPOSE: To make a visual check from outside whether container is securely sealed or not by utilizing changes in its inner pressure by a method wherein a seal lid is provided with a pressure confirming part which projects to either lower in pressure of the inside or outside of the seal lid by the difference between the inner pressure and the outer pressure and an outer lid is provided with a pressure visual recognizing part for visually recognizing the pressure confirming part from outside.

CONSTITUTION: A lid 1 is mechanically attached to a container 20 from above with the pressure confirming part 17 of the lid projecting upwardly. A projection 14 and a lip 21 are firmly engaged and securely held together. A seal part 16 is urged against the mouth part of the container to seal its contents. When the temperature of the contents falls, the inner pressure becomes smaller than the outer pressure and a pressure confirming part 17 is displaced inwardly. If the sealability is impaired, since the inner pressure and the outer pressure are almost the same, the pressure confirming part 17 remains projected to outside. Therefore, it can be confirmed whether or not the sealability is perfect by seeing the state of the pressure confirming part 17 through a hole 5, i.e. the pressure visual recognizing part. Moreover, the lid is simple in structure and inexpensive and easy to produce.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-156961

(43) 公開日 平成8年(1996)6月18日

(51) Int.Cl.⁶

B 6 5 D 51/18
55/02

識別記号

E

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数 4 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平6-329211

(22) 出願日 平成6年(1994)12月5日

(71) 出願人 000222222

東洋ガラス株式会社

東京都千代田区内幸町1丁目3番1号

(72) 発明者 上田 良三

東京都葛飾区新小岩2丁目15番5号

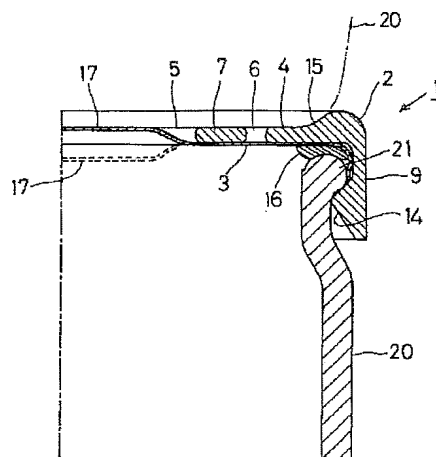
(74) 代理人 弁理士 神戸 清 (外1名)

(54) 【発明の名称】 広口容器の蓋

(57) 【要約】

【目的】 密封が確実に行われているかどうかを外部から一目瞭然に視認できる広口容器の蓋を提供する。

【構成】 広口容器口部のリップに嵌合する短筒状の樹脂製外蓋の天板の背面に、薄板状の金属製又は樹脂製で内容物を密封するシール蓋を一体的に設け、該シール蓋に内圧と外圧の差で内側又は外側の圧力の低い方に突出変位する圧力確認部を設け、外蓋には外側から該圧力確認部を視認できる圧力視認部を設けたことを特徴とする広口容器の蓋である。圧力視認部から圧力確認部の状態を見ることで、密封性が完全であるかどうか一目瞭然に確認できる。



1 蓋	2 外蓋	3 シール蓋	4 天板
5 穴	6 切込	7 握み部	8 筒壁
9 突条	10 窪み	11 シール部	12 圧力確認部
13 広口容器	14 リップ		

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 広口容器口部のリップに嵌合する短筒状の樹脂製外蓋の天板の背面に、薄板状の金属製又は樹脂製で内容物を密封するシール蓋を一体的に設け、該シール蓋に内圧と外圧の差で内側又は外側の圧力の低い方に突出変位する圧力確認部を設け、外蓋には外側から該圧力確認部を視認できる圧力視認部を設けたことを特徴とする広口容器の蓋

【請求項 2】 外蓋に、摘まり部と、該摘まり部から連続し、破断線で筒壁から切り離し可能な切断部とを設け、該摘まり部を引いて切断部を切り離して開蓋する請求項 1 の広口容器の蓋

【請求項 3】 シール蓋を薄板円盤状のアルミニウム製とし、圧力確認部をシール蓋の上側又は下側に皿状に突出させたものとし、圧力視認部を摘まり部の中央の穴とした請求項 2 の広口容器の蓋

【請求項 4】 シール蓋を薄板円盤状の樹脂製とし、圧力確認部をシール蓋の上側又は下側に皿状に突出させたものとし、圧力視認部を摘まり部の中央の穴とした請求項 2 の広口容器の蓋

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、日本酒等の飲料のコップ状の容器、いわゆる、ワンカップ容器に用いて好適なもので、内容物を暖めた状態で包装するいわゆるホットパックを行う広口容器の蓋に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来のこの種の広口容器には、薄い板状のアルミニウム製の蓋を容器口部のリップに嵌合し、蓋の縁に摘まり部を設け、開蓋するときは該摘まり部を引き、蓋の周縁部を破壊し、容器口部のリップとの嵌合を解除する、いわゆる、リンプルキャップが用いられていた。リンプルキャップの例は、実開平 5-71118 号公報等に示されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来の、いわゆるリンプルキャップを代表とするホットパックを行う蓋は、包装完了後に内容物の温度が下がり内圧が変化するために密封を損じることがあるが、それを外部から視認することはできなかった。本発明は、内圧の変化を利用し、密封が確実にに行われているかどうかを外部から一目瞭然に視認できる広口容器の蓋に関するものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明は、広口容器口部のリップに嵌合する短筒状の樹脂製外蓋の天板の背面に、薄板状の金属製又は樹脂製で内容物を密封するシール蓋を一体的に設け、該シール蓋に内圧と外圧の差で内側又は外側の圧力の低い方に突出変位する圧力確認部を設け、外蓋には外側から該圧力確認部を視認できる圧力視認部を設けたことを特徴とする広口容器の蓋である。

【0005】

【作用】 本発明は、上記の構成のごとく外蓋とシール蓋とでなり、外蓋は広口容器口部に嵌着させて容器にしっかりと固定する作用を、シール蓋は外蓋と一体化されることで容器の内容物を密封する作用を有する。また、シール蓋には内圧と外圧の差で内側又は外側の圧力の低い方に突出変位する圧力確認部を設けたので、ホットパックする際には圧力確認部を外側に変位させた状態で蓋を装着する。包装完了後に内容物の温度が下がり、内圧が外圧に対して小さくなり、圧力確認部は内側に変位することとなる。もし、密封性が損なわれているときは、内圧と外圧はほぼ等しくなり、圧力確認部は外側に変位したままとなる。これを外蓋の圧力視認部から確認すれば、密封性が完全であるかどうかを一目瞭然と視認することができる。

【0006】

【実施例】 以下実施例を表した図面を参照しつつ本発明を詳細に説明する。図 1 は実施例の広口容器の蓋 1 の容器への装着状態の略断面図である。同図においては左半分及び容器の下側を省略して表している。図 2 は外蓋 2 の上面図、図 3 は外蓋 2 の側面図である。

【0007】 蓋 1 は、ガラス製のコップ状の広口包装容器に装着するもので、樹脂製で短筒形状をなす外蓋 2 とアルミニウム製のシール蓋 3 とからなる。外蓋 2 の天板 4 には、図 2 に示すように、中央の穴 5 とその周囲の切込 6 により摘まり部 7 が形成され、この摘まり部 7 は脆弱なブリッジ 8 を切断して簡単に引き起こせるようになっている。穴 5 は、外部から圧力確認部 17 を視認するための圧力視認部でもある。切込 6 は、図 3 に示すように、筒壁 9 に至り、その先が内面を V 字溝 10 とした切断線 11 に続いている。その下端は、切断をより容易にするための切欠 12 となっている。2 本の切断線の間が摘まり部 7 から連結し摘まり部 7 と共に外蓋 2 から切り離される切断部 13 となってる。なお、本実施例よりも切込 6 を短くし、その分切断線 11 を長くして切断線を天板 4 にも形成できることはもちろんである。図 1 に示すように、外蓋 2 の筒壁の下端には内側に膨出する突条 14 が形成され、広口容器 20 のリップ 21 と嵌合する。また、外蓋 2 の天板 4 上面には、広口容器 20 の底部形状に対応した窪み 15 が形成され、積み重ね可能となっている。

【0008】 シール蓋 3 は、略円盤状をなし、図 1 に示すように、その背面のびん口部と接触する部分に環状にコンパウンド（ライニング）でシール部 16 が設けられており、外蓋 2 の天板 4 の背面、突条 14 の上側に、機械的に嵌着され、一体化されている。外蓋とシール蓋を一体にするには、機械的に嵌着する他に、予め成形したシール蓋を外蓋の金型に取り付け、この状態で外蓋を成形する方法等、種々の公知方法を用いることができる。シール蓋 3 の中央部は上側又は下側に皿状に突出する圧

3

力確認部17となっている。

【0009】蓋1は、図1に示すごとく、圧力確認部17が上側に突出した状態で容器20に上方から機械的に装着される。突条14とリップ21は強固に嵌合し、しっかりと固定される。シール部16は容器口部に押圧されて、内容物を密封する。やがて内容物の温度が下がると、内圧が外圧より小さくなり、圧力確認部17は、図1に破線で示すように、内側に変位する。密封性が損なわれている場合は内圧と外圧がほぼ等しくなっているから、圧力確認部17は外側に突出したままとなっている。したがって、圧力視認部である穴から圧力確認部17の状態を見て、密封性が完全であるかどうかを確認することができる。

【0010】使用者が開蓋するときは、摘まり部7を引き起こし、更に引いて摘まり部7及びこれに連結している切断部13を外蓋2から切り離す。これにより外蓋の筒壁が開放され、リップ21と突条14の嵌合を簡単に解除でき、蓋1を容器20から取り外すことができる。アルミニウム製のシール蓋3は切断されず、また、外蓋の内側に一体的にあるから、人を傷つける危険はない。

【0011】図4は他の実施例の蓋30の平面図である。蓋30の外蓋31の天板32には穴34及び切込35により摘まり部33が形成されている。穴34は、やはり、外部から圧力確認部を視認するための圧力視認部となっている。このように、摘まり部及び圧力確認部は蓋の中央付近に設けるのみならず、種々の位置に種々の大きさで、また、種々の形状で設けることができる。

【0012】図5は他の実施例の蓋40の容器への装着状態の略断面図である。本実施例はシール蓋を樹脂製とする例である。蓋40のシール蓋41は略円盤状の樹脂製で、その背面のびん口部と接触する部分に環状にコンパウンド（ライニング）でシール部42が設けられている。シール蓋41の中央部は周囲よりも肉薄となっており、上側又は下側の圧力の小さいほうに皿状に突出する圧力確認部43となっている。

【0013】

【発明の効果】本発明広口容器の蓋は、内圧の変化を利用し、密封が確実に行われているかどうかを外部から一目瞭然に視認できる。また、構造も簡単で、安価容易に

4

製造できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施例の広口容器の蓋1の容器への装着状態の略断面図である。

【図2】外蓋2の上面図である。

【図3】外蓋2の側面図である。

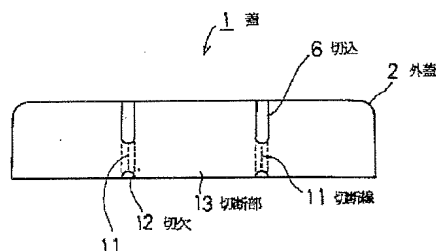
【図4】実施例の蓋30の平面図である。

【図5】実施例の蓋40の容器への装着状態の略断面図である。

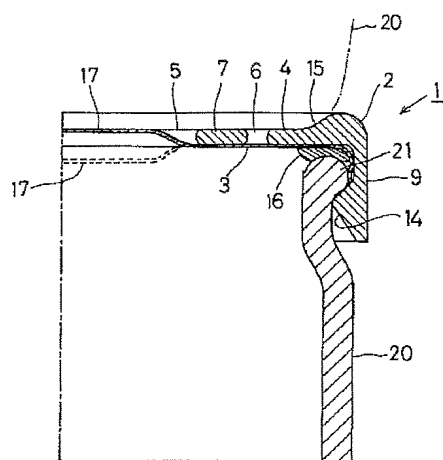
【符号の説明】

- | | |
|----|-------|
| 1 | 蓋 |
| 2 | 外蓋 |
| 3 | シール蓋 |
| 4 | 天板 |
| 5 | 穴 |
| 6 | 切込 |
| 7 | 摘まり部 |
| 8 | ブリッジ |
| 9 | 筒壁 |
| 10 | V字溝 |
| 11 | 切断線 |
| 12 | 切欠 |
| 13 | 切断部 |
| 14 | 突条 |
| 15 | 窪み |
| 16 | シール部 |
| 17 | 圧力確認部 |
| 20 | 広口容器 |
| 21 | リップ |
| 30 | 蓋 |
| 31 | 外蓋 |
| 32 | 天板 |
| 33 | 摘まり部 |
| 34 | 穴 |
| 35 | 切込 |
| 40 | 蓋 |
| 41 | シール蓋 |
| 42 | シール部 |
| 43 | 圧力確認部 |

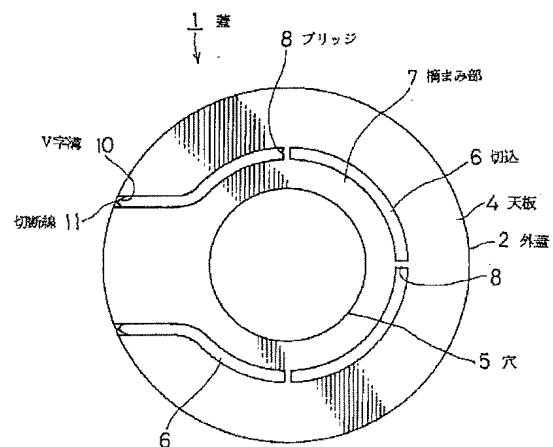
【図3】



【図1】

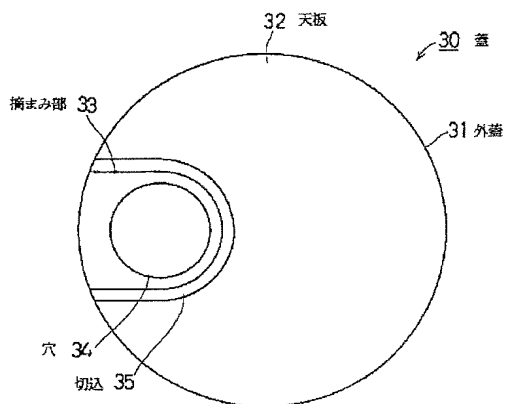


【図2】



- | | | | |
|---------|--------|---------|----------|
| 1 蓋 | 2 外蓋 | 3 シール蓋 | 4 天板 |
| 5 穴 | 6 切込 | 7 摘み部 | 8 筒壁 |
| 14 突条 | 15 窪み | 16 シール部 | 17 圧力確認部 |
| 20 広口容器 | 21 リップ | | |

【図4】



【図5】

